

### 緑のまちあれこれ

○ 今年の正月三ヶ日は、異常なまでに暖かく穏やかだったが、曜日の配列で4日から仕事始めということになり、通常国会も開会された。そして1月6日、突然に北朝鮮の水爆打ち上げのニュースが飛び込んできた。国際状況がともかく動き始めたことになる。中東の‘イスラム国’をめぐる動乱は宗教戦争の趣を呈してきた。申（さる）の年は世間がかまびすしくなるという。大発会からの株式連続下落、戦争法への野党共闘。自分たちの生活を守ってゆくために十分注意深く世界情勢をみつめなくてはならない。誰もがこれは変だと思ふようなことが起こると世の中の流れは変わる。今年はそのようなことが起こるかもしれないような気配がすでに漂ってくる年である。

### 「緑のまち合唱団」より

毎月1回（第3土曜日午後1時30分より）楽しく歌っています。今歌っている曲は「野に咲く花のように」「まっかな秋」「小さい秋みつけた」など、どこかで一度は聞いたことのある曲。「コスモスの花」「広い河の岸边」など新しい曲も教えていただいています。歌の好きな方、興味のある方、大歓迎です。是非見学にいらしてください。お待ちしております。

これからの練習予定

1月22日（金） \*いつもと曜日が違ってきます

2月20日（土）

指導・ピアノは新谷みゆきさんです。

連絡先：佐々木 TEL 371-9528

■ 編集後記 ■ 北国分のみなさん、あらためておめでとうございます。今年もよろしくおねがいします。今号は「私は戦争を忘れない」が、依頼者の原稿がえられず掲載できませんでしたが、直接の戦争体験だけではなく、お父さんやおばあさんから聞いた話でも、本を読んで感じた感想でも、どなたからでも結構です、戦争に関する文章がいただければと思っています。また、今号から石居隆行さんの「北国分の野鳥」シリーズの連載が始まりました。お楽しみいただきたいと思います。

# 緑のまち

—北国分だより—

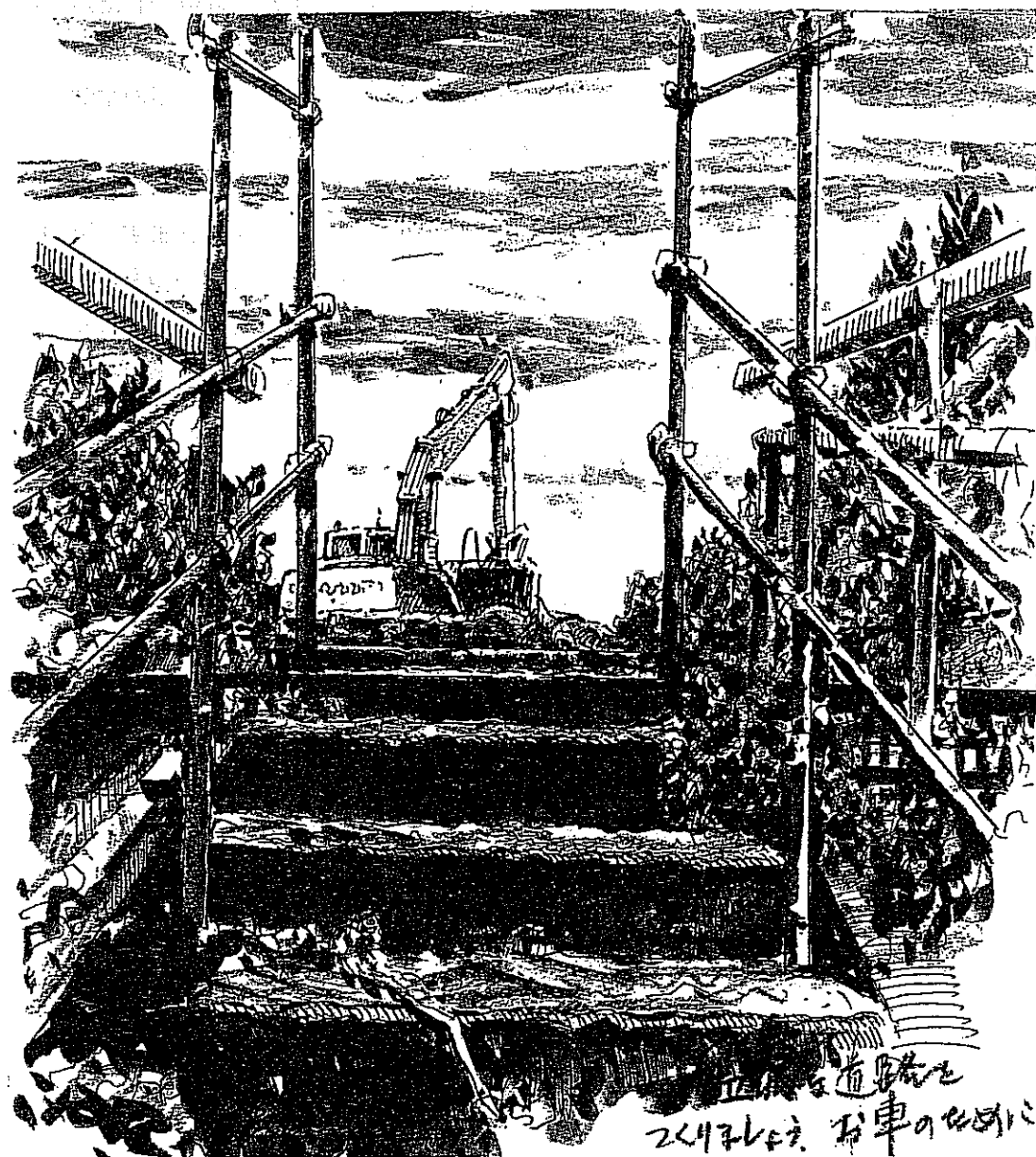


第116号 2016.1.20 発行

編集 北国分外環対策協議会  
 市川市北国分 2-29-12 越田方  
 Tel 047-372-8936  
<http://midori.kuuki.info/>

## 迎春

2016年



# 北国分・堀之内の神社をめぐる

佐々木 陽子

今年のお正月は天気恵まれ暖かい日で始まりました。初日の出は、起きられず見られなかったのですが、年末にいなりざく公園の前で、日の出前のどうめき谷津の姿を見ることができ、その時の美しい、だんだんと明るくなる空をながめていました。きれいに晴れわたった朝だったので、印象に残った北国分の日の出の光景でした。今、外環工事ですっかり変わってしまったどうめき谷津ですが、朝の静けさがただよっていました。これから高速道路ができれば、この様な光景が見られなくなるかもしれないと考えてしまいました。

元旦といたら、まずは初詣ですね。地元の神社へ初詣にと思い、家から近い堀之内のいざなぎ神社へ向かいました。元旦の午前中はまだ歩いている人も少ない町中でしたが、神社に近づくにつれ、家族連れなどの姿が見られるようになりました。神社の鉦や鈴の音はお正月を感じさせてくれるものでした。お参りする人たちは、手を合わせ一年の幸せを願って居るのでしょうか。私も健康と世の中の平和をお願いしました。

次に向かったのは北国分1丁目の愛宕神社です。毎年参拝していますが、いつも地元の方々がたくさん初詣に訪れているようです。お子さん連れの家族も多く見られます。町の人に親しまれている神社です。今年も次々におまいりする姿がありました。いつもは静かな神社も華やかに見えました。入口には2樹の大イチョウがどんと構えて、神社を守っているようです。ずっと昔からこの町を見守ってくれた大イチョウ。これからも町の人々を守ってくださいとお願いして帰りました。



焼詣の初売り鈴を鳴らし来る	初春や桜の好みし帯しめて	生かされて指折り仰ぐ初御空	葉を落とし青空抱きこむ大銀杏	七日粥庭のはこべら入れにけり	ポポポと鼓のリズム葱刻む	あらたまの初まる今日の雀かな	今ここに居る幸せや雑煮膳	鏡の間の心耳調ふ能始
三好 ひろし	山本 愛子	笹沼 裕司	小野 てる子	岡川 幸子	宇佐美てつ子	石川 みさ子	伊藤 政代	井沢 楨子

新春詠 (里山俳句)

こうのだい九条の会

# 第7回「秋の文化展」を開催しました

いつもたくさんの方にお世話になっています。昨年12月に「こうのだい九条の会」7回目の文化展を開催し、90人の方の創意ある作品149点を会場一杯に展示することができました。新しく出展していただいた方も19人増えました。北国分からは、油彩画、水彩画、銅版画、俳句、短歌、写真、リース、パッチワークのご出品をいただき、「緑のまち」に掲載され、たくさんの方にご来場いただきました。本当に有難うございました。

2015年9月19日強行採決で成立した「平和安全保障観連法」は、憲法9条が禁じている国際紛争解決のための武力行使を可能にするもので、憲法違反にほかなりません。「平和安全」の名を冠して、その内容は戦争法そのものです。9条を守りたい、9条が壊されると、多くの方がこの戦争法の廃止を求め、地域から国会へと、声を上げて来ました。この運動の中で、ママの会の「だれの子どももころさせない」のように、学者、宗教者、学生、若者が自らの言葉で反対を訴え続けています。

2016年1月4日、安倍首相は記者会見で7月の参議院選挙で改憲を争点にする姿勢を述べました。いよいよ9条が危ないいま、27団体が共同呼びかけで「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」を立ち上げ、戦争法廃止を求める統一署名に取り組んでいます。ご協力を是非お願いします。

松林 (375) 2925



## □バードウォッチング□

日時：平成27年11月29日(日)

天候：晴

参加者：佐々木 福田 鈴木 鈴木 松林  
越田 村岡 計7名確認された鳥：ヒドリガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ  
ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ キジバト  
アオサギ ダイサギ コサギ カワセミ コゲラ  
ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ  
ウグイス エナガ メジロ ハクセキレイ  
計21種

コメント：風もなくよく晴れ、エナガ、メジロ、シジュウカラが特に多く出ました。紅葉の中、落葉の中、皆で歩きました。(村岡)

次回 2月21日(日) 雨天中止

集合 小塚山あずまや 10時

解散 じゅんさい池公園 12時

有れば双眼鏡、メモ帳をご持参ください

(連絡先) 越田 (372) 8939

## バードウォッチングに参加して

とても気持ちの良い天気にも恵まれて、野外でのバードウォッチングには最適な半日でした。参加者がいつもより少なかったのは、ちょっと残念でしたが、参加した人たちは、ゆっくり、のんびり鳥を探しながら歩き、楽しむことができたと思います。

小塚山の森では、小さな鳥たちが集まってかわいい声をたくさん聞かせてくれました。ひとつの鳥でも人間と同じようにその時の感情によって色々な鳴き方をするようで、それを聞き分けることは経験だそうです。

じゅんさい池にはいろいろなカモが来ていました。オナガガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロなど、くちばしのかたちや尾のかたちなどで見分けるのですが、新しく参加した方は「カモにこんなたくさんの名前があるとは知らなかった」と話していました。私もまだすぐには見分けられないのですが、回を重ねるごとに少しずつ分かるです。ベテランの参加者も、新人参加者も、それぞれ新しい発見がある会だったと思います。

(S. Y.)



## 北国分の野鳥 I

石居 隆行

今シーズンは、エルニーニョによる世界的な温度上昇により、北国分の紅葉も遅れ、最近になってようやく街中落葉でいっぱいです。昨シーズンは秋から春にかけてながい間、堀之内からじゅんさい池の森まで数羽のアカゲラが留まっており、自宅で作業をしていますが、ドラミングや鳴声ですぐに確認できました。鳴声は「ファッ、ファッ」と、シロハラやツグミにも似たような感じでした。昨年度何度も聞いたので覚えることができました。9月23日じゅんさい池で念願のキビタキにも出会えました。私も小塚山に住んで30年余りですが、バードウォッチングを始めたのは6年前くらいでしょうか。ここ数年は、様々な鳥を識別できるようになり、そんな私の体験を北国分の皆さんに御紹介したいと思います。

これからご興味を持たれた方は、シーズンを通じていつでも観察できる鳥をまず覚えましょう。「ギャーギャー」うるさいヒヨドリ、「チリ、チリ」とかわいいメジロ、よくとおるソプラノのシジュウカラ、散歩中耳を澄ますと「コン、コン」とコゲラ(小さいキツキ、「ギー」と鳴く)、これらに慣れたら次は集団で仲良く移動しているエナガ(かわいい声を聞かせてくれます)。ポケット図鑑と双眼鏡を片手に緑のまちを北国分を散歩すれば、すぐに見つけることができるでしょう。「北国分に住む」それは日常に野鳥の轉りを感じることができる環境があり、ひと月も経てばあなたもバーダーです。お休みにお部屋の掃除をしながら窓の外に耳を澄ませばすぐに覚えられます。年々目や耳が衰えてきますが、野鳥観察を通じて視覚・聴覚を鍛えて、五感を研ぎ澄ませてください。ネット環境の整っている方は、ユーチューブで鳴声を覚えるのも近道ですが、森の中の生の原音は格別です。

しばらくの間、「緑のまち」のホームページが更新されずご迷惑をお掛けしましたが、ブログ形式のホームページに作り直しましたので、簡単に更新できるようになりました。「北国分外環対策協議会」で検索すれば、すぐに見つかります。そこに北国分の野鳥コーナーを設けましたので、よろしくお願い致します。私が見かけた珍しい野鳥は、タイムリーにお知らせします。また、私の知人の力武邦博さん(真間在住)のフェイスブックは、毎日野鳥の写真が更新されます。是非、覗いてみてください。



## “さる” あれこれ

西畑 健一

今年も申年。“サル”といえば「見ざる 聞かざる 言わざる」の三猿。日光東照宮の左甚五郎の彫刻が有名だが、70 数年前の戦時中は、まさに三猿の掟が幅を利かせ、ひたすら軍部独裁の時代だった。写真機を持って歩いているだけでスパイ容疑で憲兵につかまり、房総半島などでは、写生することさえ禁止された。機密漏洩法の制定はそんな風潮をよびもどさせる。

また、申年といえば庚申講。江戸時代には青面金剛が刻まれた石塔を建て、ひとびとがお堂に集まって一晩を酒食で過ごしたという。その夜眠ると身体の中のサンシと云う虫が神様に罪を告げるからとか、命を縮めるとかといわれた。柴又帝釈天はその庚申の日が縁日。北国分にも江戸時代の庚申塔が何か所か残されている。



### 緑のまちホームページ システム変更のお知らせ

しばらくの間、緑のまちのホームページが更新されずご迷惑をお掛けしました。ブログ形式の新しいホームページを作成しましたのでよろしくお願ひ致します。それに伴い、アドレスが下記に変更されましたので、併せてよろしくお願ひ致します。

<http://midori.kuuki.info/> 検索キーワード「北国分外環対策競技会」

いずれ、検索エンジンで「北国分外環対策協議会」で検索すると、一番上に出てきます。

このアドレスは、市川の空気を調べる会のサブリメントとなっており、費用がかからないものになっております。鈴木一義代表に許可をいただいております。

内容は、とりあえず、①過去のバックナンバーを見ることができる

#### ②北国分の野鳥コーナー

リンク先：3.4.18 の HP、市川緑の市民フォーラム、市川の空気を調べる会、埋蔵文化財調査速報、赤レンガをいかす会、関さんの森エコミュージアム、公共事業改革市民会議、市民による外環道問題連絡会・三鷹 etc.

乗せたいタイムリーな記事があればワードデータ等の添付ファイルを私のメールアドレスへお送りください。

Ishitaka6648@gmail.com

石居 隆行

(本の紹介)

## おじいさんおばあさんの 子どもの頃 日本は戦争をした

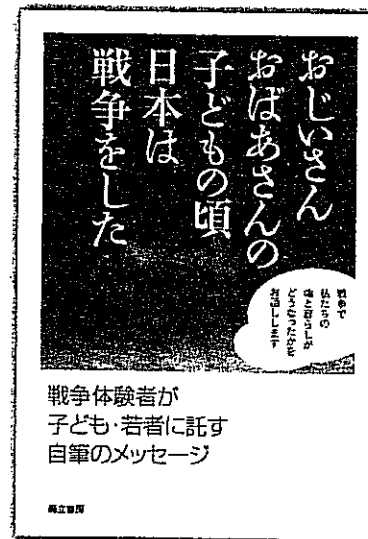
中村 攻・宮代喜代美・石澤憲三 編

「緑のまち」は今号で 116 号の発行になります。年 4 回発行?で…、30 年目になるのでしょうか。この本の編者である中村攻（なかむらおさむ）さん宛に数年前より「緑のまち」を毎号送ってきました。同氏と数名の方は昨年戦後 70 年にあたり、この本を発行され編集委員宅に送って来たので紹介させていただきます。

小学校 4 年生から大人の方まで読める本で、特徴は、①戦争体験者みずからが筆をとって、みずからが書き残した作品。②戦争体験者が子どもたちに語りかける文章になっている。③戦争により私たちの命と暮らしがどのように変わってしまうのか。ひとりで、親子で、友人・グループで呼んで頂けたらと思う内容で、その当時の生活のにおいや人の心のあり方など感じることができました。詳細、本の取次ぎは、

佐々木 371 9528 松林 375 2925 菅野 375 2872 まで。

### 戦争体験の本



『おじいさんおばあさんの  
子どもの頃 日本は戦争をした』  
中村攻・宮代喜代美・石澤憲三編  
而立書房刊（定価：本体1000円＋税）  
ISBN978-4-88059-389-0

戦争によって私たちの命と暮らしがどのように変わってしまうのか。戦争の本当の姿を知ることこそ、平和を考えるゆるぎない土台です。

本書は戦争を直接体験した市民が自ら筆とり、子どもたちに託したメッセージです。第三者が聞きとって作った体験談とは異なるなかなか得難い素顔の体験談です。

学校や家庭や地域で平和と戦争について考える教材として、多くの人々に読まれることが期待されます。